

ジャパン サイフォニスト チャンピオンシップ 2017

JAPAN SIPHONIST CHAMPIONSHIP 2017

ルール規約



日本スペシャルティコーヒー協会

コーヒーブリューワーズ委員会

JSC 2017年1月16日版

目次

1.0 参加条件

- 1.1 参加者
- 1.2 申込
- 1.3 競技者からの質問
- 1.4 規約

2.0 大会

- 2.1 予選
- 2.2 決勝
- 2.3 飲料の定義

3.0 大会の流れ

- 3.1 競技エリア概要

4.0 機器、アクセサリ類、原料類

- 4.1 サイフォンテーブル
- 4.2 グライNDER
- 4.3 (グラインダー以外の)電気機器を使用する場合
- 4.4 提供される設備品、供給品
- 4.5 持参することを推奨する設備品および供給品

5.0 競技者が準備時間の前にすべきこと

- 5.1 競技者オリエンテーションミーティング
- 5.2 準備スペース
- 5.3 競技時の音楽
- 5.4 時間の遵守
- 5.5 ステーション・セットアップ
- 5.6 サポートメンバー／アシスタント
- 5.7 ステージ上に運ぶ備品・供給品について

6.0 準備時間

- 6.1 準備時間の開始
- 6.2 運搬用トレイ
- 6.3 審査員用プレゼンテーションテーブル
- 6.4 試し抽出
- 6.5 フラスコのお湯
- 6.6 準備時間の終了

7.0 競技時間

- 7.1 司会からの紹介
- 7.2 競技時間の開始
- 7.3 競技者自己紹介
- 7.4 提供することが求められている飲料について
- 7.5 ボランティアスタッフが提供された飲料をさげることについて
- 7.6 作業ステーションの区画周辺について
- 7.7 競技時間の終了
- 7.8 競技時間後の会話について
- 7.9 時間オーバーによるペナルティ(減点)について
- 7.10 コーチについて

8.0 技術的な問題について

- 8.1 妨害行為について
- 8.2 アクセサリーを忘れたら

9.0 片付け時間

10.0 競技終了後

- 10.1 競技記録の保管について
- 10.2 競技者の総合得点
- 10.3 同点の場合
- 10.4 デブリーフィング(報告)

11.0 競技者からの異議申し立てと嘆願要請

- 11.1 競技者に関する問題
- 11.2 スコアシートを見直している際に提起される審査員／審査に関する問題について

12.0 JSC 公認審査員

- 12.1 JSC 公認審査員になるには
- 12.2 審査員としての準備
- 12.3 審査員としての目標と目的

- 12.4 審査員がサイフオニストチャンピオンに期待すること
- 12.5 JSC 公認審査員の主な職務
- 12.6 審査員が競技者に期待すること

13.0 審査員の役割

- 13.1 ヘッドジャッジ
- 13.2 テクニカルジャッジ
- 13.3 センサリージャッジ

14.0 評価項目

- 14.1 競技エリア
- 14.2 味覚評価
- 14.3 飲料のプレゼンテーション
- 14.4 技術的な技能
- 14.5 総合的な印象

15.0 審査員の役割

- 15.1 審査前の審査員の禁止行為
- 15.2 競技大会中の審査員の振る舞い
- 15.3 味覚審査時には
- 15.4 審査員同士のカリブレーションタイム
- 15.5 公の、また、メディアとのコミュニケーションについて

16.0 技術面の評価の仕方

17.0 スコアシートの再点検

18.0 JSC 審査員による不誠実な姿勢について

19.0 嘆願要請

1.0 参加条件 Conditions of Participation

1.1 参加者 Participants

1.1.1 参加資格

ジャパンサイフォニストチャンピオンシップ(以下 JSC)への参加資格は、日本国籍をお持ちの方、若しくは2年以上の就業証明書類、就業書類を所持している方とします。

また、競技者は同年の JSC 予選・決勝における審査をする事ならびに審査員の資格を有する事は出来ません。

1.1.2 費用 Expenses

競技者は JSC への出場に際し、開催期間中のすべての費用に関し責任をもつものとします。すべての費用とは、競技者の移動に伴う費用、宿泊費用、追加の旅費、大会での提供品、原材料、輸送・運送費およびコーチやサポートメンバーの費用等を含みます。

JSC は、競技者のいかなる費用も負担しないこととします。

1.1.3 WSC 日本代表選考に関する規定

本競技会において優勝した競技者は、2017 年度に開催される WSC に日本代表(1名)として参加する。

但し日本国籍を有する者のみ、その対象とする。

SCAJ は、国内代表に選出された競技者およびそのサポーター1名の渡航費、宿泊費(WSC 開催期間中)を負担するものとする。これ以上の競技会に係る競技者自身の旅行と宿泊に係る追加費用、消耗品、材料費、現地交通費、追加人員費用などを含む費用は競技者が責任をもつこととする。なお、SCAJ が負担する宿泊費は本大会前後2日間である。

本競技会の優勝者が何らかの理由で日本代表として WSC に参加できない場合、またはその権利を放棄する場合、次点の競技者にその権利を移譲するものとする。

1.2 申込 Application

1.2.1 競技者登録フォーム Competitor Registration Form

競技者は必要事項のすべてを記載の上、SCAJ のホームページより申込みをしてください。

1.2.2 申込期限 Due Date to Apply

SCAJ ホームページ記載事項を参照ください。

1.3 競技者からの質問 Competitor Questions

すべての競技者は、最新の JSC 規約とスコアシートについて幅広く理解しておかなければなりません。

JSC 規約およびスコアシートの理解不足による異議申し立てに対しては、例外措置および便宜をとることはありません。

すべての JSC 関連書類は、JSC のサイトからダウンロードできます。質問がある場合には JSC の開催前に JSC 事務局宛に質問をしてください。

1.4 規約 Terms & Conditions

競技者は下記の規約を理解していることを認めたくえで、JSC 競技者登録フォームを送信及び提出してください。

【要注意】当規約には、個人の責任と JSC の優勝者に賦課される代表者として求められることを含んでいることに注意してください。(期限は当該 JSC 大会開催日から次の年の大会開催日までとします。)

A. 競技者は、以下のことを確認し、エントリーを行ってください。

i. JSC、SCAJ がそれぞれの普及促進に際して、競技者の氏名、画像を使用することを許可すること。

ii. 上記の使用に際して、写真、ビデオ、印刷物、インターネット、その他のいかなる電子メディアを含め、いかなる制限

も受けないこと。

- iii. JSC や SCAJ の好評を維持するために積極的に活動すること。
- B. 競技者は、本ルール規約に定める競技者行動規範をよく読み、また遵守すること。
- C. JSC の優勝者は、日本スペシャルティコーヒー協会（SCAJ）を代表するサイフォニストとなること。
- D. JSC の優勝者は、本ルール規約に定める優勝者の行動規範をよく読み、また遵守すること。

2.0 大会 The Competition

- A. 本競技会での公用言語は日本語とします。
- B. 本競技会は予選と決勝が行われ、予選を通過した競技者が決勝に参加できます。

2.1 予選

- A. 予選は決勝と異なり日本の特別ルールで行います。

意義はサイフォンコーヒー抽出の深い探究心と理解をねらいとし、その啓蒙普及にあります。

競技者はコーヒー豆を準備する必要はありません。

大会事務局が予選当日各選手に、試飲用・競技用含め1競技者に 250 グラムのコーヒー豆を準備します。

そして1競技者につき1名のサポーターを登録指名できます。

サポーターは競技会には参加できません。

また、登録されたサポーターは複数の競技者をサポートすることは出来ません。

- B. テクニカルタイム（15分）

ブリューイングタイム（抽出提供）前に、テクニカルタイムとして各競技者とその競技者が登録したサポーター1名に競技エリアの中での試飲等に15分間与えられます。

テクニカルタイムには、ハロゲン台3連1台、サイフォン器具3台、スポンサー指定グラインダー、お湯用ポット、電磁調理器、コーヒー豆キャニスター、ロート3本、ロート立てが用意されます。テクニカルタイムは競技者1名とサポーター1名許可され、大会事務局が準備したコーヒー豆の抽出テストが共同作業で許可されます。

試飲等を行い与えられたコーヒー豆の特性を確認してください。

持ち込み備品は、コンセントを要しない物で任意です。

テクニカルタイムで扱うコーヒー豆、挽いた後の香り、抽出されたコーヒー液は、競技エリア外の他人には体験できません。

サポーター以外の方が、手を貸したとみなされた場合、競技者は失格となりますので注意下さい。

ブリューイングタイムで実際使うサイフォンコーヒー2杯分のコーヒー豆は必ず残して下さい。

1選手に与えたコーヒー豆250グラムは追加はありません。

- C. ブリューイングタイム（5分）

ブリューイングタイムは競技者のみで競技を行い、5分間与えられます。

ハロゲンサイフォン台3連1台、サイフォン器具3台（1台予備）、スポンサー指定グラインダー、お湯用ポット、電磁調理器、コーヒー豆用キャニスター、ロート立て以外の備品は任意です。

コンセントを要する備品の持ち込みは不可とします。

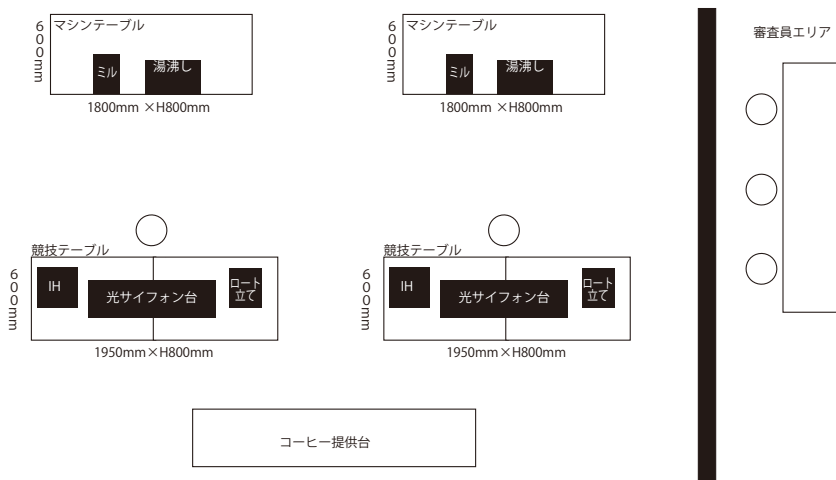
サイフォンコーヒー2杯抽出し完了した全てのコーヒー液は、フラスコのまま提供台まで提供して下さい。

提供台にフラスコを置いた時点での競技終了となります。

※提供するコーヒーのために、コーヒーカップ&ソーサーを準備する必要はありません。

- D. 提供するコーヒーは、何グラムのコーヒー豆を使用しても構いません。
- E. コーヒーは JSC 競技会指定のサイフォン二人用仕様を使用します。フラスコに入る湯量であれば、任意の湯量で抽出することが出来ます。
- F. コーヒー液出来上がり量は 100ml 以上、300ml 以下の範囲ならば任意の量で構いません。
- G. テーブルセッティング(コーディネート)は必要ありません。
- H. それぞれの競技者は、2名のセンサリージャッジ、1名のテクニカルジャッジ 1名のヘッドジャッジで審査されます。提供台にはセンサリージャッジはいません。
- I. 競技者は、2つのサイフォンコーヒーフラスコを5分間の競技時間内に提供台へ置いてください。
- J. ブレンドコーヒーは1つのサイフォン器具に対し1杯抽出とします。
- K. 競技者は競技時間中に失敗した場合、3つのサイフォンセット分は作成することができます。審査員は提供されたフラスコのコーヒーのみ評価します。
- L. 提供するコーヒーについては、プレゼンテーションは必要ありません。
- M. 予選はセンサリー2名の各点数とテクニカル1名の点数の合計点で計算されます。
- N. タイムオーバーはセンサリー2名+テクニカル1名の総合点よりオーバータイム1秒=1点で減点されます。単位は0.1秒四捨五入とします。60秒を超えると失格になります。
- O. 総合点が同点の場合、センサリーのスコアの点数が高い方が優先されます。センサリースコアも同点の場合、センサリースコア206コーヒーの総合バランスが高い方が優先されます。センサリースコア206が同点の場合、センサリースコア203コーヒーの良質な酸味の得点が高い方が優先されます。センサリースコア203が同点の場合、センサリースコア202コーヒーの風味の得点が高い方が優先されます。センサリースコア202が同点の場合、センサリースコア205コーヒーの後味の得点が高い方が優先されます。センサリースコア205が同点の場合、センサリースコア204コーヒーのボディの得点が高い方が優先されます。

P.競技エリア概要



予選競技エリア配置図

※ 競技会場によりスペースは多少異なります。

2.2 決勝

- A. それぞれの競技者は、3名のセンサリージャッジ、2名のテクニカルジャッジ、1名のヘッドジャッジにより審査されます。
- B. それぞれの競技者は、3名それぞれのセンサリージャッジに、ブレンドコーヒー1杯とシグニチャービバレッジを1杯提供してください。(シグニチャービバレッジは、コーヒーベースでありアルコールの使用をしていないものに限ること。)全部で、6杯のドリンクを15分の競技時間内に提供してください。
- C. どのカテゴリーのコーヒーから提供するかは競技者の判断に任せますが、同じカテゴリーのドリンクを3杯提供し終えてから、他のカテゴリーのドリンクを提供してください。
- D. それぞれのカテゴリーのドリンクは競技者の裁量に任せられます。(例えば、1杯ずつ提供するもの、また、3杯同時に提供するものも競技者の裁量に委ねられます。)センサリージャッジは、提供されたらすぐに審査を始めることとします。(もし、競技者がカテゴリー以外のドリンクの提供をした場合には、失格となります。)
- E. ブレンドコーヒーは1つのサイフォン器具で1杯だての抽出とします。
- F. シグニチャービバレッジのコーヒーも1つのサイフォン器具で1杯だての抽出とする。
競技者から右側3連ハロゲンサイフォンがブレンド、左側サイフォン3連がシグニチャービバレッジ用に使用すること。
- G. それぞれのカテゴリーの3杯のドリンクは、同一の内容であることとします。
- H. 同じカテゴリーの飲料は、3杯とも同じコーヒーを使って準備してください。
- I. 競技者はそれぞれのカテゴリー(ブレンドコーヒー、シグニチャービバレッジといった)毎に異なるコーヒーを使用することができます。
- J. 競技者は競技時間中に何杯でも作成することができます。審査員は提供された飲料のみ評価してください。

2.3 飲料の定義 Beverage Definitions

2.3.1 ブレンド Blended Coffee(決勝)

- A. ブレンドコーヒーは、異なったコーヒー豆のオリジンもしくは同じオリジンであれば異なった焙煎度の配合、若しくは精製の違いのコーヒー豆とすること。シングルオリジンの一種類の単一倍煎コーヒーの評価は不可となります。
- B. ブレンドコーヒーは、何グラムのコーヒーを使用しても構いません。
- C. ブレンドコーヒーは JSC 競技会指定のサイフォン二人用仕様を使用します。フラスコに入る湯量であれば、任意の湯量で抽出することが出来ます。
- D. コーヒー液出来上がり量は 100ml 以上、300ml 以下の範囲で任意の量で構いません。1 カップ毎同じコーヒー抽出量にしてください。
- E. ブレンドコーヒーは、カップ等の決まりは定めませんが 3 つの形は同じ形状であること。
- F. ブレンドコーヒー提供の際は、スプーン、ナフキン、お水を用意しておくこと。 ※決勝のみとします。

2.3.2 シグニチャービバレッジ Signature Beverage

- A. シグニチャービバレッジは、競技者によって作り出されるサイフォンコーヒーのフリースタイル飲料とします。
- B. これは飲料であるため、審査員が飲めるものとします。
- C. 3杯のシグニチャービバレッジは、JSC 競技会指定のサイフォン二人用仕様を使用します。
- D. シグニチャービバレッジ用に抽出されたコーヒー液は3つのサイフォン器具それぞれ 100ml 以上であること。但し、シグニチャービバレッジに使用するコーヒー液は任意とします。

- 1 杯のシグニチャービバレッジに必ず 1 つのサイフォンコーヒーで抽出されたコーヒー液を使用してください。
- E. サイフォンコーヒーは、競技時間内に用意してください。
 - F. シグニチャービバレッジは、コーヒーの風味が優位的／支配的に存在するようにしてください。
 - G. シグニチャービバレッジは、どの温度帯でも構いません。
 - H. シグニチャービバレッジに使用するいかなる材料の中に、アルコールや、アルコールエキスもしくは、アルコールの副次物、また、麻薬等違法物質の使用はしないでください。
 - I. シグニチャービバレッジに使用する材料は、競技時間内に現場で調理されることが望ましい。
 - J. 使用するすべての原材料は、オープンにしてください。競技者は、使用した原材料の元のボトルや包装・パッケージを持参してください。

2.3.3 スコアシートにおけるペナルティ Score Sheet Penalties

- A. もし、シグニチャービバレッジの原材料として、アルコールや麻薬等違法物質が見受けられた場合、センサリージャッジのシグニチャービバレッジカテゴリーのすべての項目は、0 点となります。
- B. もし、ブレンドコーヒー抽出時にコーヒー以外の原材料、もしくは、使用する物質がサイフォン上ボールもしくは下ボール内に確認された場合、テクニカルジャッジ・センサリージャッジのすべてのスコアが 0 点となります。
- C. シグニチャービバレッジは器具の特性を生かし、ロートもしくはフラスコにコーヒー以外の原材料を入れ抽出することもできます。
- D. ただし iii. においては、コーヒー抽出において、お湯の中に不純物(コーヒー以外の水に溶ける物質＝原材料)が入ると良質なコーヒー抽出が出来ないことを認識ください。
- E. それぞれのシグニチャービバレッジにサイフォンコーヒーが入っていない場合、シグニチャービバレッジの「味覚のバランス」の項目は、0 点となります。

3.0 大会の流れ Competition Procedure

- A. 競技スペースは、1,2 と番号が付けられます。
- B. それぞれの競技者には、開始時間と競技スペース番号が割り当てられます。
- C. それぞれの競技者には、下記の通り予選はテクニカルタイム 15 分間、抽出 5 分間、片付 5 分、決勝では準備時間 10 分、競技時間 15 分、片付 10 分 与えられます。

予選

- i. テクニカルタイム:15 分間(※競技者 1 名とサポーター1 名競技エリアと一緒に試飲が可能です。)
- ii. プリユースタイム:5 分間
- iii. 片付時間:5 分間

決勝

- iv. 準備時間:15 分間
- v. 競技時間:15 分間
- vi. 片付時間:10 分間

- D. 競技の流れは、概略として下記の表の通りです。

予選

Station No. 1

Station No. 2

1 サイフォニスト	
テクニカルタイム : 15分間 ブリューイングタイム : 5分間 片付時間 : 5分間	2 サイフォニスト
	テクニカルタイム : 15分間 ブリューイングタイム : 5分間 片付時間 : 5分間
3 サイフォニスト	
テクニカルタイム : 15分間 ブリューイングタイム : 5分間 片付時間 : 5分間	4 サイフォニスト
	テクニカルタイム : 15分間 ブリューイングタイム : 5分間 片付時間 : 5分間

決勝

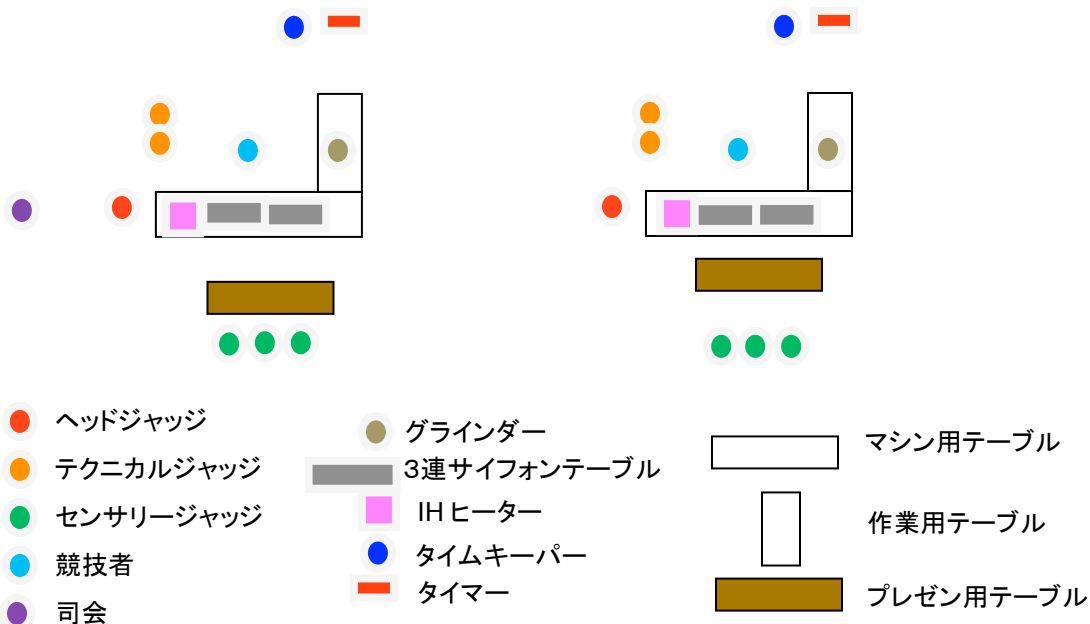
Station No. 1

Station No. 2

1 サイフォニスト	
準備時間 : 15分間 競技時間 : 15分間 片付時間 : 10分間	2 サイフォニスト
	準備時間 : 15分間 競技時間 : 15分間 片付時間 : 10分間
3 サイフォニスト	
準備時間 : 15分間 競技時間 : 15分間 片付時間 : 10分間	4 サイフォニスト
	準備時間 : 15分間 競技時間 : 15分間 片付時間 : 10分間

- E. 予選のスコアは、決勝に持ち越されません。
- F. 予選終了後、予選のスコアにより、決勝進出上位8名が協会ホームページにて発表されます。
- G. 発表日時はイベントスタッフから案内があります。

3.1 決勝競技エリア概要 Overview of the Competition Area



4.0 機器、アクセサリ類、原料類、Machineries, Accessories & Raw Materials

4.1 サイフォンテーブル Siphon Table

競技者は、JSC より提供された JSC 公式スポンサーのサイフォンテーブルを使用することとします。JSC より提供されたサイフォンテーブルの熱源は「ハロゲンランプ」です。サイフォン台の位置、ポットのお湯を沸かすレンジの位置は上記の図の通り固定。あとの備品は任意とします。

4.2 グライNDER Grinder

競技者は、JSC により公式に提供されたグラインダーを使用することもできますし、自身で持ち込んだグラインダーを使用することもできます。ただし、競技者は競技時間中 1 台のグラインダーの使用しか認められていません。

4.3 (グラインダー以外の)電気機器を使用する場合 Using Additional Electrical Equipment

(Aside from grinder)

競技者は、決勝競技時間中に使用する電気機器を 2 台まで使用することができます。競技者は、事前に持ち込む電気機器を JSC 事務局に連絡してください(例:ホットプレート、ハンドミキサーなど)。競技者は自身で使用する機器が使用できるか、またアダプタやコンバーター(電気変換器)は必要でないかなどは自身で確かめてください。JSC は如何なるアダプタも変換器も用意していません。

4.4 提供される設備品、供給品 Provided Equipment & Supplies

それぞれの競技スペースには、次のものが設備されています。

- ・ JSC 指定のサイフォン器具一式
- ・ マシン用テーブル (サイフォンテーブル、グラインダー、ポット用) L: 2.75m W: 0.60m H: 0.80m
- ・ 作業用テーブル (マシン用テーブルに対して、L 字になるよう左側に設置されます。トレイ、ガラス類、そのほかのアクセサリ用) L: 1.80m W: 0.60m H: 0.80m
- ・ プレゼン用テーブル(審査員テーブル) L:2.10m W:0.60m H:0.70m
- ・ サイフォンテーブル(光)
- ・ グライNDER
- ・ ポット
- ・ 電磁調理器
- ・ ゴミ箱
- ・ 運搬用トレイ (準備時間および片付時間用)

4.5 持参することを推奨する設備品および供給品

Recommended Equipment & Supplies to be brought by Competitor

競技者は自身のプレゼンに必要なものをすべて持ち込んでください。競技者は移動時、もしくは競技中に破損した場合のために予備品を用意してください。自身で持ち込んだものは、大会期間中、自身で責任を持って管理してください。

JSC ボランティアとイベントスタッフは競技者準備室、競技エリアに残された品目については一切の責任を持ちません。

競技者は、下記の物を持参してください。

- ・ コーヒー(練習用・競技用)
- ・ ろ過器
- ・ フィルター (ペーパー、布、ステンレス)・竹べら
- ・ グライNDER (オプションとして JSC が提供するグライNDERを使用することができます)
- ・ ブレンダー (オプション)
- ・ 追加の電気機器 (最大 2 台まで)
- ・ 牛乳 (オプションとして JSC が提供する可能性があります)
- ・ カップ&ソーサー (6 杯のドリンク用と予備のもの)
- ・ スプーン
- ・ 必要な調理器具
- ・ シグニチャーピバレッジ用に使用するすべての機器及びアクセサリー(決勝のみ)
- ・ ナフキン
- ・ お水用のグラス (3 人のセンサリージャッジ用)
- ・ お水 (3 人のセンサリージャッジ用)
- ・ パータオルもしくはきれいな布巾 (練習用・競技用)
- ・ 清掃用必需品 (カウンター用ブラシ、グライNDER用ブラシなど)
- ・ トレー (審査員への接客・提供用)
- ・ すべてのアクセサリー (プレゼンテーションテーブル)
- ・ 運搬用トレー (JSC が提供する運搬用トレーを使用することもできます。)

5.0 決勝競技者が準備時間の前にすべきこと Competitor Instructions Prior to Preparation Time

5.1 競技者オリエンテーションミーティング Competitors' Orientation Meeting

JSC が始まる前に競技者オリエンテーションミーティングが行われます。

すべての競技者は、このオリエンテーションミーティングに参加しなければなりません。

このミーティングにて、JSC イベントマネージャーおよびヘッドジャッジは、大会の流れについて案内や説明をします。その中で、スケジュール、競技エリアやバックヤードについての実地説明をします。競技者は、質問や懸念事項などを JSC イベントマネージャーもしくはヘッドジャッジに質問することができます。

5.2 準備スペース Preparation Space

競技者が使用する準備用のスペースが用意されています。このスペースは、競技者、ボランティア、JSC 事務員用に用意してあります。JSC 審査員、プレスやメディア、競技者の家族やサポートメンバーは JSC イベントマネージャーの承諾なしに入ることはできません。競技者は、自身の機器、アクセサリー、原材料などをこの部屋に保管しておくことができます。

この部屋には、原材料を保管しておくために、冷蔵庫や冷凍庫が用意されています。また、食器洗浄用シンクが用意されています。競技者は自身の皿やガラス食器などをきれいにしておくようにしてください。また、自身の品目の管理をしてください。ボランティアスタッフは、各競技者の食器備品の破損や喪失に責任を負いません。

5.3 競技時の音楽 Music during Competition/ Performance Time

競技者は自身の競技時間にかかる音楽 CD を持参することができます。音楽には、冒涇、不敬な言葉が入ってはいけません。持参する CD および CD ケースに自身の氏名を必ず明記してください。競技者の責任において、大会前に JSC イベントマネージャーか、もしくは、オーディオ・ビジュアルスタッフに自身の CD を手渡すようにしてください。また、競技者の責任において、競技後 JSC イベントマネージャーか、もしくはオーディオ・ビジュアルスタッフから CD を受け取るようにしてください。受け取りに来なかった場合は、大会後に破棄されます。

5.4 時間の遵守 Be on Time

少なくとも準備時間開始の 30 分前に、準備／練習ルームにいるようにしてください。自身の準備時間の 15 分前に現場にいない競技者は失格となります。

5.5 ステーション・セットアップ Station Set-up

運営ボランティアリーダー（以下、ヘッドランナー）は、それぞれの競技者の競技ステーションが準備時間前に競技者の要望通りになっているようにする責任を負っています。（例えば、ヘッドランナーはグラインダー、ブレンダーまた、電気機器の位置が競技者の要望通りになっているかを確認してください。）

5.5.1 グラインダーのセットアップと電気機器のセットアップ Set-up Grinder and Electrical Equipment

もし、競技者が自身のグラインダーを持ち込む場合には、大会前に JSC イベントマネージャーに知らせなければなりません。サポートマネージャーは準備時間の開始前に、競技者がサポートマネージャーに自身のグラインダーや持ち込んだ電気機器を運ぶのを手伝ってほしいかの確認をとります。しかし、これらの品目が設置され、またコンセントを入れた段階において、競技者はこれらの品目に触ることはできません。即座にその場から離れてください。

5.6 サポートメンバー／アシスタント Supporters/ Assistants

競技者、通訳、JSC ボランティアと事務員以外の誰も、準備時間、片付時間中にステージに上がることはできません。サポートメンバー／アシスタントはステージ上に上がってはいけません。

5.7 ステージ上に運ぶ備品・供給品について Supplies to be Carried on the Stage

競技者が自身の備品・原料を競技エリアに運ぶのに運搬用トレーを使用できます。準備時間前に競技者は、運搬用トレーに自身が使用する食器・備品・原料を積み込んでください。

6.0 準備時間 Preparation Time

6.1 準備時間の開始 Begin Preparation Time

それぞれの競技者は、準備時間を与えられています。競技者が競技を開始したら、JSC イベントマネージャーか、もしくは準備時間のタイムキーパーの告知により次の競技者の準備時間が始まります。準備時間の目的は、ステーションのセットアップと競技への準備のためです。

競技者が準備室から運搬トレーを使い、自身の競技に使う備品を持ち運びます。指定されたステーションに着き、一つめ

の運搬トレー(運搬トレーを複数使用する場合も)を競技台に置くと、タイムキーパーは、競技者に「用意はいいですか？」と尋ねます。競技者は、「OK」の返事をします。その瞬間より準備時間のタイムキーパーは、準備時間を計測するストップウォッチのスタートボタンを押し、タイマーも同時にスタートさせます。

計測開始後は何度でも準備時間内であれば備品を取りに往復できます。

6.2 運搬用トレー Carrying Tray

競技者は自分自身で運搬用トレーから備品などを降ろしてください。準備時間のタイムキーパーは、準備時間が終わったら運搬用トレーをステージから下げます。運搬用トレーは競技時間中にステージ上にないようにしてください。

【要注意】もし、準備時間が終わった時点で運搬用トレーの上に品目が残っていても、競技者はトレーから降ろすことはできません。競技者は、競技時間が始まってから運搬用トレーから品目を降ろしてください。

—8.3 アクセサリーを忘れたらを参照してください。

6.3 審査員用プレゼンテーションテーブル Judges' Presentation Table

審査員用プレゼンテーションテーブルは準備時間中にセットアップしてください。審査員用のお水は準備中に審査員用のテーブルに用意することができます。しかし、競技時間が始まる前にグラスには注がないでください。もし競技者が審査員用テーブルを競技時間中にセットしたいのであれば、準備時間中にセットしなくても構いません。

6.4 試し抽出 Trial Brewing

競技者には、準備時間中に試し抽出することをお勧めします。

6.5 フラスコのお湯 Hot Water for Flask

準備時間の最後にフラスコ内にお湯を入れておかななくてはなりません。このお湯は計量しなくても良いです。

抽出開始前に一旦捨てる作業が必要となります。

6.6 準備時間の終了 End of Preparation Time

競技者は準備時間を超えて準備することはできません。準備時間のタイムキーパーは準備時間中、競技者に残り時間が、10分、5分、3分、1分、(予選では10分のコールはありません)のときにアナウンスします。準備時間が終了したら準備時間のタイムキーパーは、“TIME”とコールし、一歩下がってくださいと声をかけます。

7.0 競技時間 Competition / Performance Time

7.1 司会からの紹介 Introduction by the Master of Ceremonies

準備時間が経過し審査員の準備ができたなら、司会者は競技者を紹介します。すべての競技者は、競技中ワイヤレスマイクの装着を求められることがあります。その場合は競技時間中のみライブ状態(放送状態)になっています。

7.1.1 通訳 Interpreter

競技者は自身の通訳を用意することができます。通訳が競技者へ話しかける場合は、司会者が話したことのみを伝えることができます。競技者が話したことを正確に通訳してください。通訳者のために競技時間が割り当てられることはありません。

7.2 競技時間の開始 Begin Competition / Performance Time

司会者は競技者の準備ができていかどうかを尋ねます。司会者の開始の合図と共に競技者は手をあげ「はじめます」と開始の合図をしてください。同時にタイムキーパーは、競技時間を計測する表示タイマーのリモコンのスタートボタンを押します。リモコンのスタートボタンが押されたと同時にストップウォッチによる計測を開始します。公式のタイムはタイムキーパーのタイムで行われますので、競技エリアの表示は目安としてください。競技時間の経過については、競技者自身が責任を持って行ってください。競技者は、表示タイマーを見て目安の残り時間を確認することができます。競技中はタイムキーパーに残り時間を聞くことはできません。タイムキーパーは、如何なる時でも指定の時間のアナウンスを決められた時間に行います。それは、もしかすると競技者が話をしているときであるかもしれません。

【要注意】もし、何かの理由によりタイマーが故障してしまった場合、競技者は自身の競技時間を止めることができません。

前述の如くタイムキーパーの時間が公式タイムとなります。競技者は上記の時間のアナウンスの提供を受けましょう。

7.3 競技者自己紹介 Competitor Self-Introduction

決勝では、競技時間の開始時に競技者は、3 人のセンサリージャッジと 1 人のヘッドジャッジに自己紹介をしてください。

3 人のセンサリージャッジとヘッドジャッジは審査員用プレゼンテーションテーブルの後ろにいます。2 名のテクニカルジャッジはステーションの後ろに立ちます。共に、競技者の邪魔にならないように細心の注意を払います。

7.4 提供することが求められている飲料について Serve Required Beverages

すべての飲料は、審査員用のプレゼンテーションテーブルに提供してください。2.0 大会と 2.3 飲料の定義を参照してください。競技者は、3 人のセンサリージャッジにお水を提供してください。競技者は競技時間の最初にお水を提供することもできますし、また飲料の提供時にすることも出来ます。

7.5 ボランティアスタッフが提供された飲料をさげることについて

Volunteer Staff (Runners) Clear the Served Drinks

それぞれのカテゴリーの飲料が提供され、審査員により評価された後に、ヘッドジャッジの指示によりボランティアスタッフは審査員用のプレゼンテーションテーブルより飲料を下げます。ボランティアスタッフは、カップ&ソーサーとスプーンのみを下げます。もし、競技者がボランティアスタッフに特別な指示を出す際には、競技時間開始前に、JSC イベントマネージャーとボランティアスタッフにその指示をよく説明する必要があります。ボランティアスタッフは競技者の邪魔にならないように最善を尽くしますが、競技者は自身のステーションへうまく誘導してください。

7.6 作業ステーションの区画周辺について Station Perimeters

競技者は、JSC から提供された作業テーブルとプレゼンテーションテーブル(審査員テーブル)の使用が認められています。持ち込み物は不可となります。(例えば、スタンドテーブル、移動式配膳台、作業台等)。さらに、競技者が何かを置いておくためにテーブルの下を利用することはできません。

7.7 競技時間の終了 End Competition

競技時間は競技者が手を上げて“TIME(終わります。)”とコールした時に終了します。競技者はタイムキーパーとヘッドジャッジに明確に聞こえるようにしてください。競技者は好きな時に競技を終了することができます。例えば、競技者が審査員

用のプレゼンテーションテーブルに最後の飲料を提供した時にも終了できますし、また、その後作業ステーションに戻り競技時間のぎりぎりまで作業台の清掃をしてから終了することもできます。ヘッドジャッジはタイムキーパーから競技者の競技時間を聞き記録します。ペナルティ(減点)の課せられない最長の競技時間は、予選では 11 分、決勝では 16 分です。早く終了することでペナルティ(減点)を課せられることはありませんし、また特別な加点ともなりません。

7.8 競技時間後の会話について Communication after the Competition Time

競技者は自身の競技時間が終了した後に、審査員に対して話しかけないでください。競技時間後の話は得点に加算されません。競技者は、競技時間の終了後に司会との会話を続けることができます。審査員は競技時間終了後に聞いた会話や説明を考慮してスコア表記することはありません。

7.9 時間オーバーによるペナルティ(減点)について Overtime Penalties

- A. もし競技者が割り当てられた競技時間内に終わることができなければ、完了までプレゼンを続けることができます。
- B. 競技時間を超えた場合、各センサリージャッジの総得点より競技時間を超えた 1 秒ごとに 1 点減点となります。
- C. 最大の減点は 60 点です。
- D. 総競技時間が予選では 11 分、決勝では 16 分を超えた競技者は失格となります。

7.10 決勝コーチについて Coaching

準備時間、競技時間を通して外からのコーチングはいかなる時点でも許されていません。もし、コーチングが行われた場合は失格となります。サポーターおよび観客、他のチームメンバーからの喝采は大いにしてください。しかし、いかなる方法でも競技者を手助けすることは許されていません。

【要注意】コーチ、サポーター、友人、家族は競技時間中、ステージ上に上がることはできません。

8.0 技術的な問題について Technical Issues

- A. 準備時間、競技時間の間、競技者は下記のような技術的な問題を抱えることがあります。
 - i. 光サイフォン(電源、周辺機器等)
 - ii. グライNDERについて
 - iii. 他の電子設備について(競技時間用タイマーを除く)
 - iv. オーディオ・ビジュアル設備について(例えば、競技者の音楽やマイクなど) この場合には、競技者は、手をあげ「Technical Time Out」とコールし、ヘッドジャッジを呼んでください。その際には、公式タイムキーパーはいつ「テクニカルタイムアウト」の宣言がされたのかを記録します。競技者は、タイムキーパーが「テクニカルタイムアウト」の記録をとったかどうかについて確認してください。
- B. もし、JSC イベントマネージャーもしくはヘッドジャッジが、技術的な問題があり容易に解消できると判断した場合、JSC イベントマネージャーもしくはヘッドジャッジは、競技者にその分の適切な時間を決定します。技術担当者がその問題を修正でき次第、競技者の競技時間は再開されます。
- C. もし技術問題がすぐに解決できない場合、JSC イベントマネージャーもしくはヘッドジャッジは競技再開を待たせるか待たせないか、競技を中止し、再度割り当てた時間で競技を再開するかどうかについて判断します。
- D. もし競技者が競技時間を止めなければならない場合、ヘッドジャッジと JSC イベントマネージャーと共に競技者は、後で再度競技時間を調整することとする。
- E. もし技術的な問題が競技者のミスによるものと判断された場合、ヘッドジャッジは更なる時間を競技者に与えない場合があります。その場合、競技者は経過した時間は保証されずに、(タイマーが止まっているところから)そのまま競技時

間は再開されます。

F. 大会用の設備機器に精通していないことはテクニカルタイムアウトの事由にはなりません。

8.1 妨害行為について Obstructions

- A. もしボランティア、審査員、観客、カメラマンなどが明らかに競技者の障害物となったとき、競技者は追加時間を与えられます。ヘッドジャッジはこのことを俯瞰し、どれほどの時間を保証するかを決定します。
- B. もし、提供後十分な時間が有ったにもかかわらず、審査員用のプレゼンテーションテーブルにカップ&ソーサーやスプーンが残っていて、このミスにより競技時間の遅延が起こった場合には、競技者はその分の遅れを保証されます。これもヘッドジャッジの責任において決定されます。

8.2 アクセサリーを忘れたら Forgotten Accessories

- A. 競技者が準備時間中に自身の設備機器やアクセサリを忘れていた場合、忘れ物をステージ外に取りに出ることはできません。しかし、この間の準備時間のタイマーは停止されません。
- B. もし、競技者が競技時間中に自身の設備機器やアクセサリを忘れていた場合、ヘッドジャッジに自身で忘れ物をステージ外に取りに出るということを申し出てください。しかし、この間の競技時間のタイマーは停止されません。
- C. ボランティアスタッフ、サポーター、チームメンバーや観客によって持ってきてもらうことはできません。

9.0 片付け時間 Clean-up Time

競技者は競技を終えたら、作業ステーションの後片付けを始めてください。担当ボランティアスタッフは、バックヤードより競技者が荷物を下げるためのカートを運んできます。もし、競技者が自分自身でグラインダーやほかの電気機器を持ち込んでいる場合には、担当ボランティアスタッフは競技者が作業ステーションからこれらの品目を下げるのを手伝います。競技者は、自身で持ち込んだすべての設備および供給品を下げた後、作業ステーションをきれいに拭いてください。審査員は片付け時間中の作業については評価しません。

10.0 競技終了後 Post Competition

10.1 競技記録の保管について Scorekeeping

10.1.1 JSC 公式記録について JSC Official Scorekeeping

JSC 公式記録係が、すべての競技記録の集計および機密保持の責任を負います。

10.2 競技者の総合得点 Competitor's Total Score

10.2.1 予選

- A. 競技者の総合得点は、1名のテクニカルジャッジと2名のセンサリージャッジの得点総合計から超過時間によるペナルティを減点することにより集計されます。

【要注意】ヘッドジャッジのスコアシートの得点は、競技者の総合得点にカウントされません。

10.2.2 決勝

テクニカル・センサリージャッジシートの全てについて評価され、競技者の総合得点は、2名のテクニカルジャッジと3名のセンサリージャッジの得点の総合計から、超過時間によるペナルティを減点することにより集計されます。

【要注意】ヘッドジャッジのスコアシートの得点は、競技者の総合得点にカウントされません。

10.3 同点の場合 Tie Scores

もし 2 名以上の競技者の総合得点が同点であった場合、公認記録係はセンサリースコアシートのブレンドのカテゴリー (センサリージャッジ部分)の得点を計算します。センサリースコアシートの中で、ブレンドカテゴリーの得点が高い競技者から

上位とします。もしブレンドカテゴリーの得点が同じであった場合、センサリースコアシートの 601～604 のサイフォニストとしての技術及び“総合的な印象”の合計得点が高い競技者から上位とします。

10.4 デブリーフィング(報告) Debriefing (Reporting)

競技者には競技会後、スコアシートと各審査員の総評を送付します。

- A. 競技者はスコアシートの元本を持ち帰ることはできません。
- B. JSC の終了後、JSC 事務局は各競技者へ E メールによりそれぞれのスコアシートと各審査員の総評を送付します。

11.0 競技者からの異議申し立てと嘆願要請 Competitor Protest and Appeals

11.1 競技者に関する問題 Competitor related Issues

11.1.1 異議申し立て Protest

もし、競技者から JSC 大会中に JSC に関しての問題が提起され、もしくは異議申し立てがなされる場合、競技者は JSC イベントマネージャーに連絡してください。イベントマネージャーは、その場で解決できる問題かどうか、JSC 事務局に対して書面にて嘆願する必要があるかを検討します。もし、JSC イベントマネージャーがその場で解決できる問題だとの判断を下した場合、関係各者にその方法が公平公正であるかどうかを確認します。競技者からの問題提起や異議申し立ては、その場で JSC イベントマネージャーと JSC 審判員で議論し、決断がなされ、JSC イベントマネージャーより競技者へその決定事項が伝達されます。

11.1.2 嘆願要請 Appeal

もし、競技者が不平不満を持ち、その不満がその場で解決できない場合、もしくは競技者がその場での決定に対して嘆願を望んでいる場合、JSC イベントマネージャーは競技者へ公式な不平もしくは嘆願として JSC 事務局へ書面にて提出するようにと話をします。JSC 事務局の決定は最終判断となります。JSC 事務局への異議申し立ておよび嘆願には下記の事項を必ず明記してください。

- 1) 競技者名: Competitor name
- 2) 日付: Date
- 3) 明瞭簡潔な異議申立文章: A clear and concise statement of the complaint
- 4) 問い合わせの日時: Date and time references(if applicable)
- 5) 競技者からのコメント/解決案: Competitor's comments and suggested solution
- 6) 関係者: Party/Parties involved
- 7) 競技者の情報(返信用): Competitor's contact information

上記情報が含まれていない書面による異議申し立て、嘆願は取り扱いません。競技者は当該紛争が起こってから、もしくは不満の元となる決定がなされてから 24 時間以内に JSC 事務局へ E-mail にて送付してください。

11.2 スコアシートを見直している際に提起される審査員/審査に関する問題について Judge/Judging related issues upon Reviewing Score Sheets

11.2.1 異議申し立て Protest

もし、競技者が 10.4 によるデブリーフィングで受け取ったスコアに対して異議を唱える場合には、JSC 事務局に E メールでご連絡ください。JSC 事務局はその競技者を審査した審査員と JSC Rules and Regulations Manager とで協議をします。

JSC 事務局はその判断を競技者へ知らせます。

11.2.2 嘆願 Appeal

もし、競技者がその決定に同意できない場合は、JSC 事務局へ書面による嘆願を行ってください。JSC 事務局の決定は最終判断となります。JSC 事務局への異議申し立ておよび嘆願には下記の事項を必ず明記してください。

- 1) 競技者名: Competitor name
- 2) 日付: Date
- 3) 明瞭簡潔な異議申立文章: A clear and concise statement of the complaint
- 4) 問い合わせの日時: Date and time references(if applicable)
- 5) 競技者からのコメント/解決案: Competitor's comments and suggested solution
- 6) 関係者: Party/Parties involved
- 7) 競技者の情報(返信用): Competitor's contact information

上記情報が含まれていない書面による異議申し立て、嘆願は取り扱いません。競技者はデブリーフィングから、もしくは不満の元となる決定がなされてから 24 時間以内に JSC 事務局へ E-mail にて送付してください。

12.0 JSC 公認審査員 JSC Certified Judges

- A. 本ルール規約に定める JSC 審査員としての行動規範は、すべての公認審査員が一貫し審査ができるように審査条件を定めます。
- B. JSC 事務局は JSC 審査員を認定し、当該開催 JSC での審査員を選出する義務を担います。
- C. JSC 認定委員会により選出された JSC 公認審査員のみが Japan Siphonist Championship での審査ができます。

12.1 JSC 公認審査員になるには How to become a JSC Certified Judge

審査員資格認定プログラムは JSC の判断により年度毎に行われます。

JSC 公認審査員になるための最新情報は JSC のウェブサイトをご覧ください。

12.2 審査員としての準備 Judge's Preparation

JSC にて審査をするすべての JSC 公認審査員はカリブレーション・ワークショップ(調整のためのセッション)に参加してください。カリブレーション・ワークショップは原則的に JSC 開催の前日に行われます。

JSC 公認審査員のカリブレーション・ワークショップの前に下記のことをしてください。

- A. JSC 規約について完全に理解し、深い知識を所有していること。
- B. ヘッドジャッジ、テクニカルジャッジ、センサリージャッジのスコアシートについて完全に理解し、深い知識を所有していること。
- C. 競技会の流れや競技エリアの設定について完全に理解し、深い知識を所有していること。

12.3 審査員としての目標と目的 Goals and Purposes of the Judges

- A. サイフォニストという職業を支持すること
- B. スペシャルティコーヒーとコーヒーのカップ(液体として)の素晴らしさを伝えること
- C. 評価するときには、常に中立、公正公平な立場に立ち、一貫していること
- D. ジャパンサイフォニストチャンピオンシップの価値を認めプロフェッショナル性の向上に努めること

12.4 審査員がサイフォニストチャンピオンに期待すること

What the Judges are Looking for a Siphonist Champion

審査員は下記のようなことを、チャンピオンに期待しています。

- A. 熟練した技術的な技能、職人としての技能、自身の職業についてのクラフトマンシップ、接客面でのコミュニケーション能力やサービススキル、サイフォニストとしての自覚。
- B. JSC での 6 杯のコーヒーの提供を超えた、コーヒーについての幅広い知識と高品質な飲料の提供についての広範な理解。
- C. 他者の模範となり、ひらめきのきっかけとなる役割となること。

12.5 JSC 公認審査員の主な職務 Main Tasks for JSC Certified Judges JSC

審査員は、次のことにより競技者の手助けとなります。

- A. 常に控えめにして、競技者にとって心地よい作業スペースの確保をすること。
- B. 競技者およびその文化背景を尊重し、敬意を表すこと。
- C. サイフォンの抽出や飲料の準備方法についての文化的な差異があることを知っていること。しかし、評価するときには JSC 規約に基づいて評価すること。
- D. 事実に基づき、その価値を尊重したコメントをスコアシートに記載すること。競技者は競技会終了後にそのスコアシートを取得します。
- E. スコアシートの見直しをするデブリーフィングに必ず参加し、競技者がより向上できる場所を目立たせること。
- F. 競技会後に更なるコメントができるように、競技者にとって近づきやすくすること。

12.6 審査員が競技者に期待すること What the Judges Should Expect from the Competitor

- A. 競技者は JSC 規約をしっかりと理解していること。
- B. プレゼンテーションが JSC 規約通りに行われること。
- C. 競技者は競技時間通りに競技をすること。競技時間を超えた時間に競技を続けた場合は、評価が下がります。もし競技時間が 1 分を超えた場合には失格となります。

13.0 審査員の役割 Judge's Roles

13.1 ヘッドジャッジ Head Judge

それぞれの競技者のパフォーマンスにつき 1 名のヘッドジャッジがつかます。ヘッドジャッジは競技者の作業エリアと審査員用のプレゼンテーションテーブルの間を行き来します。

- A. ヘッドジャッジは、競技時間中に審査の過程を俯瞰し、発生した問題や競技に影響のあることを監督・処理します。
- B. ヘッドジャッジは、審査員が JSC 基準に従って専門的に審査するように監督する責務を担います。
- C. ヘッドジャッジは競技中に、プレスの写真家やカメラマン、オーディオスタッフやボランティア、他の審査員などを含み、如何なる妨害も行われないようにする責務を担います。
- D. ヘッドジャッジは、センサリージャッジが味覚評価のテイスティングを終えてから味覚審査をします。
- E. ヘッドジャッジは、ヘッドジャッジ用スコアシートを用いて競技者を審査します。ヘッドジャッジ用スコアシートの得点は、競技者の総合得点の中に集計されません。
- F. ヘッドジャッジは、時間オーバーの減点があるかを判断するために、総競技時間を記録します。
- G. ヘッドジャッジは、すべての審査員が明確にまた、正確にすべての項目に得点を記載しているかを確認します。

13.2 テクニカルジャッジ Technical Judges

それぞれの競技者のパフォーマンスにつき 2 名のテクニカルジャッジがつきます。2 名のテクニカルジャッジは、競技エリアのそばに立ちます。(予選は 1 名)

テクニカルジャッジの評価項目については、JSC テクニカルスコアシートを参照してください。

13.3 センサリージャッジ Sensory Judges

それぞれの競技者のパフォーマンスにつき 2 名のテクニカルジャッジに加え、3 名のセンサリージャッジがつきます。

3 人のセンサリージャッジは審査員用のプレゼンテーションテーブルの後ろに位置します。それぞれのセンサリージャッジは自分自身に提供された飲料のみを評価しスコアをつけます。センサリージャッジの評価項目については、JSC センサリースコアシートを参照してください。

14.0 評価項目 Judging Criteria

14.1 競技エリア Competition Area

2 名のテクニカルジャッジは、競技開始時および競技終了時の競技エリアの清潔さを評価します。

14.2 味覚評価 Taste Evaluation

ブレンドコーヒー、シグニチャービバレッジと、それぞれ個々の飲料について得点が与えられます。(予選はブレンドコーヒーのみ) 評価としては、原料と飲料の特徴・個性に基づいて得点が与えられます。競技者は、甘さと苦味と酸味とアロマの調和の取れたバランスが表現できるよう励んでください。競技者は、なぜこのコーヒーにしたのか、基本的な焙煎度合いは、ブレンドコーヒーは何で構成されているのか、主な味覚の要素は何か、シグニチャービバレッジについては、どんな材料を使用したのか、なぜこのシグニチャービバレッジを提供しようと思ったのかなどについて、言葉にて審査員に説明してください。

14.3 飲料のプレゼンテーション Beverage Presentation

評価として、カップ、グラス、アクセサリといった視覚的なプレゼンテーションについても得点が与えられます。ここでは、カップ&ソーサーの清潔さ(カップの横に、こぼれたり、垂れたりしていないか)、飲料の一貫性、創造性やプレゼンの特性といった要素も含まれます。

14.4 技術的な技能 Technical Skills

技術者の技術的な知識やサイフォンやグラインダーの操作技能に基づいて得点が与えられます。

14.5 総合的な印象 Total Impression

ここでは、サイフォニストとしての技能、飲料の味覚評価、そして個人としてのプレゼンテーション、飲料としてのプレゼンテーションといった審査員による総合的な印象により、得点が得られます。

15.0 審査員の役割 Judge's Roles

15.1 審査前の審査員の禁止行為 Judges' Do's and Don'ts prior to Judging

- A. 審査員は大会期間中選手と会話することを差し控えること。他の競技者や出席者が個人的なコーチングをしているとみなします。
- B. センサリージャッジは審査前に刺激の少ないものを食したり、控えめな味覚の食事をするようにしてください。

- C. 審査前には喫煙をしないでください。
- D. 香りのあるデオドラント(防臭液)を付けないようにしてください。
- E. 香水、コロソールや香りのあるローションなどをつけないでください。

15.2 競技大会中の審査員の振る舞い Judge's Behavior during the Competition

- A. すべての審査員は、公平公正で、誠実でなければなりません。
- B. すべての審査員は、常に競技者に対して肯定的で、丁寧でなければなりません。
- C. 審査員は、競技者の言うことのみを聞き、競技者に注目してください。
- D. ヘッドジャッジは、審査員の礼儀作法に関して正す権限を持っています。

15.3 味覚審査時には During the Taste Evaluation

観客、ボランティア、運営管理者、そして、最も重要なのは、競技者は、味覚審査時に審査員に注目しているということを忘れないでください。どんなに些細な動きや表情の変化も、肯定的に解釈されたり、否定的に解釈されたりしますので、避けるようにしてください。

15.3.1 センサリージャッジに望むこと What We ask the Sensory Judges

- A. 競技者紹介のときには笑顔で歓迎してください。
- B. 競技者から直接質問を受けた際には答えてください。
- C. 競技者が飲料を提供する際には笑顔でアイコンタクトを取ってください。
- D. 飲料が提供されたらできるだけ評価を早く始めてください。
- E. 審査員は、競技者に対して心理的な力があり、強い影響力があると覚えておいてください。
- F. 味覚審査中には、他の審査員と目を合わせたり、表情に表したりしないでください。アイコンタクト中には、表情をつくってしまうという本能があることを覚えておいてください。
- G. 競技時間中には他の審査員とコミュニケーションすることはしないでください。
- H. ステージ上で他のセンサリージャッジと評価を共有することはしないでください。
- I. 味覚評価中は笑わないようにしてください。
- J. 競技者や観客に否定的に解釈されることはしないでください。
- K. ヘッドジャッジを除き、他の誰にも自身に提供された飲料をテイスティングすることを許してはいけません。
- L. 競技者によって、食べるように指示されない限り、競技者により提供された食べ物を食さないでください。
- M. ヘッドジャッジに対する議論、確認、質問は、競技が終了した後、バックヤードにて行ってください。

15.3.2 テクニカルジャッジに望むこと We ask that the Technical Judges

- A. 競技者の動きをよく知っており、競技中に競技者の邪魔にならないようにしてください。
【要注意】(サイフォンやグラインダーをチェックする際などに)テクニカルジャッジによって汚れた場合には、その審査員がきれいになさってください。
- B. テクニカル評価をしている際に笑ったりしないでください。
- C. 競技者や観客に否定的に解釈されることはしないでください。
- D. 他のテクニカルジャッジとのコミュニケーションは最小限にしてください。
- E. ヘッドジャッジに対する議論、確認、質問は、競技が終了した後バックヤードにて行ってください。

15.4 審査員同士のカリブレーションタイム Judges' Calibration Time

競技が終了した後、センサリージャッジとテクニカルジャッジは自身の最終評価を終えてください。審査員はステージ上から

離れ、数分間のカリブレーションタイムを持ちます。

- A. 審査員のフルネームと競技者のフルネームがスコアシートの上部に明記されていること。
- B. スコアシートには明確に記入すること。
- C. もし、審査員が判断上の誤りがあったり、スコアの変更をするときは、もとの数字にバツをつけるか、削除して正しいスコアとイニシャルを明記すること。
- D. もし 0 点から 6 点を付ける項目に 0 点もしくは 6 点をつけた時には、カリブレーション時にヘッドジャッジに知らせること。0 点をつける際には、なぜそのスコアになったのかをスコアシートに明記すること。0 点か 6 点をつける際にはヘッドジャッジの承認が必要です。
- E. 審査員は価値のあるコメントや事実に基づいた正確なコメントを書くこと。スコアシートの空いている場所をコメント記入に使用してください。コメントを記入することは、何か問題が起きたり、スコアの確認のために呼ばれたりした際に詳細を思い出すのに役に立ちます。また、競技大会後に競技者の評価コメントをする際にも有用です。例えば、特定分野を向上させるためのコメントや、強い分野についてのコメントや詳細などを審査員は明記してください。
- F. 審査員は、ヘッドジャッジにスコアシートを渡す際にすべての項目を評価し、得点を記入してあるかを確認すること。

15.5 公の、また、メディアとのコミュニケーションについて Communication with Public or Media

JSC 事務局長は、メディアとの会話が許されている唯一の役職です。もし報道機関の方から接触があれば、JSC 事務局長に話をするように指示してください。

JSC 事務局長がメディアに話をする際には、下記のことを守ってください。

- A. 積極的であり、サイフォニストという職業の専門性を構築し、コーヒーの素晴らしさを伝えること。
- B. 個人の競技内容や飲料についての議論は差し控えること。
- C. 競技大会中のミスについての議論はしないこと。
- D. JSC を代表して話をする事。

16.0 技術面の評価の仕方 Technical Evaluation Procedure

テクニカルスコアシートについての説明をします。それぞれの競技者は 2 名のテクニカルジャッジにより評価されます。

16.1 評価基準(尺度) Evaluation Scale

評価の尺度は、テクニカルジャッジ、センサリージャッジと共に同じ尺度です。

Yes=1 もしくは No=0

Unacceptable=0 Acceptable=1 Average=2 Good=3 Very Good=4 Excellent=5 Extraordinary=6

許容できない=0 許容はできる=1

標準=2 良い=3 とてもよい=4 優秀=5

並はずれている驚くべき=6

ここでは、Yes/No 項目と 0-6 点項目の 2 通りの評価の仕方があります。

Yes/No Score

競技者は、Yes であれば 1 点もしくは 3 点を、No であれば 0 点を獲得します。

Zero to Six Score

ここでは、1 点から 6 点の間において 0.5 点きざみの評価が得られます。ハーフポイントは、小数点を使用し、10 進法にて明記してください。(分数ではありません。) 例えば、1.5、2.5、3.5 と記載します。最低得点は 1 点です。0.5 点という得点はありません。0 点という評価は、まったく許容できない場合のみつけることとなります。0 点と 6 点という評価は

ヘッドジャッジの承認が必要です。

17.0 スコアシートの再点検 Review Score Sheet

15.4 の審査員同士のカリブレーションタイムを参照してください。

18.0 JSC 審査員による不誠実な姿勢について Dishonest Behavior by a JSC Judge

もし競技の審査中に、ヘッドジャッジやほかの JSC 職員により、JSC 審査員が不誠実な行動が見つかったり、その可能性が予想されるという好ましくない事態が起こったら、次のことが適用されます。

- A. ヘッドジャッジは、疑惑のある評価の周辺にあるすべての競技者のスコアを公認記録係より戻すように依頼します。
- B. ヘッドジャッジは、関係のある JSC 審査員を呼び、JSC 審査員プログラムマネージャーとのミーティングによりこの状態を見極めます。
- C. JSC 審査員プログラムマネージャーと事務局長は非公開のミーティングにより裁決します。
- D. もし、不誠実という問題が規模の大きい場合には、JSC 審査員プログラムマネージャーは当該 JSC 審査員を将来にわたり、JSC 認可の大会にて審査できないという処分を裁定する権限を持ちます。

19.0 嘆願要請 Appeal

もし、JSC 審査員がその決定に対して同意しなかった場合、嘆願として JSC 事務局へ書面にて提出できます。JSC 事務局の決定は最終判断となります。JSC 事務局への嘆願には下記の事項を必ず明記してください。

- 1) 氏名: Name
- 2) 日付: Date
- 3) 明瞭簡潔な異議申立文章: A clear and concise statement of the complaint
- 4) 問い合わせの日時: Date and time references(if applicable)
- 5) コメント／解決案: Comments and suggested solution
- 6) 関係者: Party/Parties involved
- 7) 返信用情報: Contact information

上記情報が含まれていない書面による異議申し立て、嘆願は取り扱いしません。審査員はデブリーフィングの後、もしくは不満の元となる決定がなされてから 24 時間以内に、JSC 事務局へ E-mail にて送付してください。